

TOPICS

医薬品の在庫管理・発注システムの開発を支援

— AI で医薬品の需要を予測 —

電子情報部 米沢裕司 (よねざわ ゆうじ)

yoneyuji@irii.jp

専門：ソフトウェア、信号処理

一言：新技術・新製品の開発をぜひ一緒に。



調剤薬局では、医薬品欠品は避けなければならない重要なことである反面、過剰な在庫は収益の悪化を招いてしまいます。そこで、薬局向けのITシステムを手がけているアサイクル㈱(小松市)では、需要に応じた適切な量の医薬品を発注できるシステムの開発に取り組みました。その際、AIで医薬品の需要を予測することについて工業試験場に相談があり、開発を支援しました。

開発にあたって複数の薬局における医薬品の需要について調べたところ、来局者の属性(年齢や性別等)や、曜日、地域の特性などの要因が影響することが分かりました。そこで、薬局の販売実績データを用いて、これらの要因と医薬品の需要との関係をAIに学習させることで、日々の医

薬品の需要を予測できるようにしました。システムの画面では、需要予測結果とその時点の在庫量に基づいて、発注すべき医薬品の一覧が表示され、薬局では発注ボタンを押すだけで適切な量を発注することができるようになり、製品化に至りました。

工業試験場では、AIの応用に関する技術支援を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

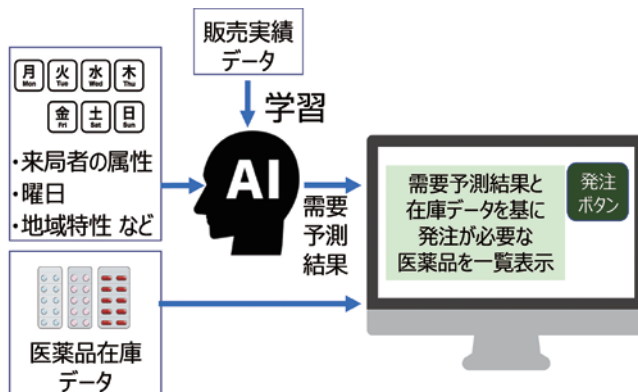


図 在庫管理・発注システムの概要